

利尻町のあゆみ

●西暦	●年号	●事柄	●西暦	●年号	●事柄
1670	寛文 10 年	松前の商船が利尻島に来てアイヌと交易を行っている。『津軽一統誌』には「沖にるいしんと言島有、狄家、狄商場、狄数300人程有、大将ムネワカイン、同モンヤカインと申候」と記録されている。			北上して8月8日にレブンシリに渡り、アイヌの船で島を一周してリイシリに渡り、沿岸を調査して11日に対岸のバックカイ（稚内市大字抜海村字バックカイ）に渡った。後に踏査日誌『再航蝦夷日誌』を書き記した。
1696	元禄 9 年	朝鮮王朝の下級官吏李志恒ら8人が泰山（利尻山）に漂着。宗谷・羽幌・松前を経由して江戸に護送され、對島藩によって釜山に送還された。	1848	嘉永元年	米人ラナルド・マクドナルド利尻島（現在の鴛泊野塚）に漂着する。宗谷・松前を経て長崎へ護送される。拘禁中に日本のオランダ通詞達から英語教授の願いが出された。
1704	宝永元年	禅僧空念が利尻島に渡り弁財天に「普門品一巻」を納経した。	1854	安政元年	リイシリのアイヌ人口は9戸34人。
1803	享和 3 年	天然痘流行により利尻礼文島のアイヌ 80～90人死亡。	1856	安政 3 年	幕府、秋田藩・仙台藩にも新たに蝦夷地警固を命じ、秋田藩には西蝦夷地神威岬以北北蝦夷地までを守り陣屋を増毛に設けるよう指図する。
1805	文化 2 年	天然痘流行により利尻礼文島のアイヌ約 130人死亡。			運上屋直営漁場以外に鯨の新漁場を開いて漁業生産活動を行なう一般の出稼漁業者（二八取漁民）の進出が許可された。
1806	文化 3 年	『西蝦夷地日記』によると利尻・礼文島産物は 鯡・鱈子・煎海鼠・干鮑・昆布・布海苔であり、アイヌ人口は6戸37人、天然痘流行により減少した。	1857	安政 4 年	秋田藩「リイシリ島略図」作成。
1807	文化 4 年	露米商会員フヴオストフの率いるロシアのフリゲート艦が、レブンシリ（礼文島）沖で伊達林右衛門の手船を襲い松前藩船を追撃した後、リイシリ（利尻島）沖でも幕吏の乗った船と岡田屋の手船を襲撃し、さらにリイシリに上陸してトマリやオシトマリの建物を焼き払うに至った。ロシア船には樺太や千島のエトロフ島で捕らえられた日本人の番人、木挽、火薬師など10人が乗船しており、その内8人がリイシリで釈放された。	1859	安政 6 年	幕府、蝦夷地を6藩に分与しリイシリ・レブンシリ島等領域は久保田藩が警備開拓にあたった。
		小普請方近藤重蔵とともに西蝦夷地を踏査した御小人目付田草川田二郎、リイシリ・レブンシリ両島を訪れ『西蝦夷地日記』を書き記した。	1869	明治 2 年	蝦夷地を北海道と改め場所請負制を廃止し国郡が設定されると、利尻島は北見国利尻郡になり、水戸藩領となった。
		幕府は 11 月に仙台藩と会津藩に蝦夷地警固のため出兵が命じられた。	1871	明治 4 年	利尻郡は開拓使の管轄下におかれた。
		リイシリ場所請負人は岡田（恵比須屋）源兵衛であった。			五代伊達林右衛門が宗谷・枝幸・利尻・礼文4郡の漁場持ちを命ぜられ、明治9年9月まで継続した。
1808	文化 5 年	会津藩は樺太、宗谷、リイシリ、松前に派遣され、リイシリ（利尻）には番頭梶原平馬景保に率いられ252人が詰めた。	1875	明治 8 年	3月の利尻郡の出稼戸数は60戸、736人で、この内103人は明治3年の「年越」者で、まだ永住者はいなかった。
		樺太警備を終えた会津藩士の帰還船観勢丸が利尻リヤコタン（沓形）に漂着し、船中で亡くなっていた諏訪幾之進光尚・山田重佐久が現在の沓形種富町に葬られた。			宗谷出張所利尻派出所が設置されたが、同年内には利尻分署と改称された。
1823	文政 6 年	ソウヤ場所の請負人だった六代藤野四郎兵衛（柏屋喜兵衛）が利尻・礼文島を請け負い、以後明治2年まで藤野家の請負が続いた。	1876	明治 9 年	開拓大主典佐藤正克、道北地方に出張し利尻島を踏査した。
1834	天保 5 年	今井八九朗、利尻・礼文島を測量し島図を作成する。	1877	明治 10 年	利尻分署廃止され、宗谷分署に統轄された。
1846	弘化 3 年	松浦武四郎は3月に松前を出発して日本海を	1878	明治 11 年	北海道大小区画が制定され利尻郡は第28大区4小区に属し、利尻扱所が置かれた。
			1879	明治 12 年	宗谷分署廃止され、利尻島は留萌分署に属することになった。
					利尻郡に鴛泊・石崎・鬼脇・仙法志・沓形・本泊の6村設定。
					大小区画を廃止し郡区町村が編成されると、宗谷郡宗谷村に宗谷・枝幸・礼文・利尻郡役所が設置され、翌年1月開庁した。
			1880	明治 13 年	鴛泊村に利尻郡各村戸長役場設置。

●西暦	●年号	●事柄	●西暦	●年号	●事柄
1883	明治 16 年	共同運輸会社に補助金を与えて「国後諸島択捉及び北見地方に汽船を航せしむ」ことが命じられた。 沓形への入稼者大宮三吉、奥津十太郎5 名が青森県三厩より屋財を船で運び漁舎を建築し草小屋のみであった沓形に初めて木造小屋を建てた。	1898	明治 31 年	仙法志村巡查駐在所設置、シュサンベツ巡查派出所廃止。
1884	明治 17 年	利尻郡各村戸長役場が鬼脇村に移転。	1899	明治 32 年	沓形尋常小学校美也古呂分校開校。 鵜泊外 2 村戸長役場から沓形戸長役場が分離。 初代戸長 上野原之助 戸数 8 6 3 戸 人口 4, 5 1 2 人 道庁補助航路として小樽天塩線と稚内網走線を新たに開設。
1885	明治 18 年	小樽増毛間汽船航路を宗谷・利尻・礼文まで延長し、7 月より明治 19 年 3 月まで共同運輸株式会社に委託。 共同運輸会社と郵便汽船会社との合併により日本郵船会社が設立し、明治 33 年まで補助航路が引き継がれた。	1900	明治 33 年	宗谷郡抜海村と利尻島間、利尻島と礼文島との間に海底電線敷設完了。 利尻郡各村漁業組合が利尻漁業組合連合会を結成し、本部を鬼脇村に置く。 北海道庁、利尻山頂で気象観測。 鬼脇外 2 村戸長役場から仙法志戸長役場が分離。 初代戸長 渡辺勝太郎。 戸数 4 8 3 戸 人口 2, 4 8 7 人 逓信省の管轄だった小樽稚内線は 10 月から内務省管轄の道庁命令航路となった。
1889	明治 22 年	沓形村に曹洞宗（大泉寺）の説教所、真宗本願寺派（明源寺）の説教所開設。 庄内の人民谷某が 12 隻の船を回航し鱈釣漁業を始める。			沓形郵便局電信事務開始。 北見富士神社創建。
1891	明治 24 年	仙法志村に真宗本派（竜雲寺）説教所が開設され、僧池田大丞が寺子屋を始めた。 沓形村に大安寺創立。	1901	明治 34 年	沓形尋常小学校美也古呂分校から独立し美也古呂尋常小学校開校。 仙法志尋常小学校玖津礼分校から独立し玖津礼尋常小学校開校。
1892	明治 25 年	鵜泊外 2 村（本泊・沓形）戸長役場を鵜泊村に置く。 鬼脇外 2 村（石崎・仙法志）戸長役場を鬼脇村に置く。 鵜泊・本泊・沓形の三村漁業組合が鵜泊に置かれる。 鬼脇・石崎・仙法志の三村漁業組合が鬼脇に置かれる。 沓形村に誓願・巡查派出所設置。 鵜泊灯台建設。	1902	明治 35 年	北海道二級町村制施行により利尻郡は鬼脇村・石崎村が合併して鬼脇村、鵜泊村・本泊村が合併して鵜泊村が成立し、利尻郡は沓形村、仙法志村の 4 村体制が整った。 沓形村・仙法志村の村会議員選挙。 仙法志郵便受取所を廃し仙法志三等郵便局開局。 美也古呂尋常小学校日中分教場開校。 仙法志の海商上田石松私設消防壮青組を組織。
1893	明治 26 年	沓形尋常小学校・利尻尋常小学校仙法志分校開校。 クツカントに北見富士神社二間四方の社殿が建てられる。 沓形で正部川才太郎私設消防同志組を組織。	1903	明治 36 年	仙法志尋常小学校に高等科を併置。 利尻郡水産組合を鬼脇村に設け、支部を鵜泊村・沓形村・仙法志村に置く。 沓形村美也古呂に利尻広嶽神社創建。 牧野富太郎、植物調査で利尻山登山。 曹洞宗広鏡寺創立。
1894	明治 27 年	沓形郵便局開局。 伊藤磯八、仙法志で郵便切手売下所を請け負う。 真宗高田派授法寺創立。	1904	明治 37 年	真言大谷派西円寺創立。
1895	明治 28 年	仙法志村シュサンベツ（長浜）に誓願巡查派出所設置。	1905	明治 38 年	沓形村大火、村役場、水産組合など 1 7 3 戸消失。
1896	明治 29 年	仙法志尋常小学校開校。 北見富士神社焼失。 沓形尋常小学校瑠蘭泊文教場開校。	1906	明治 39 年	沓形尋常小学校瑠蘭泊文教場から独立し瑠蘭泊尋常小学校開校。
1897	明治 30 年	北海道庁、利尻山頂で皆既日食気象観測。 郡役所廃止にともない、利尻郡は北海道宗谷支庁の管轄下に置かれた。 沓形尋常小学校に高等科併置許可される。 仙法志尋常小学校玖津礼分校開校。 沓形村大火、121 戸焼失。	1909	明治 42 年	産業組合法に基づく仙法志信用購買販売組合設立認可。

●西暦	●年号	●事柄	●西暦	●年号	●事柄
1910	明治 43 年	帝国在郷軍人会沓形村分会、仙法志村分会創立。 沓形村消防組発足。(組頭他 3 4 名)。 沓形村火災予防組合発足。 北見富士神社、沓形村社と認可される。	1921	大正 10 年	沓形築港起工式。 利尻水力電気株式会社営業運転開始、鴛泊・沓形地区点灯。 日本郵船、補助航路である小樽稚内甲線経営を終了し、甲線航路を継承受命するため小樽に北海郵船合資会社を設立した。
1911	明治 44 年	仙法志村共同墓地・火葬場、沓形村新湊墓地・火葬場設置。 カモイヌカ〔沓形字神居〕で山火事発生、南風激しく猛烟に沓形市街を覆う。 日蓮宗妙生寺創立。	1922	大正 11 年	仙法志神社、仙法志村社と認可される。 鉄道宗谷線の開通により日本郵船は小樽稚内線経営を終了した。
1912	明治 45 年	利尻郡水産組合解散。 沓形村富野墓地・火葬場、蘭泊墓地・火葬場、設置。 仙法志村農会発足。 仙法志村に利尻山神社(現在の仙法志神社)創建。	1923	大正 12 年	小樽新聞社主催の北海道三景に利尻山 1 位となる。 沓形村水産組合・仙法志村水産組合解散し宗谷水産会設立。 利尻水力電気株式会社沓形派出所設置。 公立沓形図書館開館。 沓形郵便局、島内初の電話交換業務開始。
1912	大正元年	仙法志水産組合設立。 仙法志長浜の青年団(大正団)私設消防を組織。	1924	大正 13 年	沓形村一級町村制施行。 利尻水力電気株式会社、仙法志地区に給電開始。 宗谷水産会沓形支部・仙法志支部発足。
1913	大正 2 年	仙法志消防組発足〔組頭他 3 6 名〕。 美也古呂巡査駐在所設置。 沓形農会発足。 美也古呂尋常小学校日中分校廃校。 博愛医院開業。 利尻島沓形村、礼文島船泊村が小樽稚内線の寄港地に加えられた。	1925	大正 14 年	海軍特務艦武蔵が日本海を測量中魚族の好棲息帯の浅礁発見し武蔵礁と命名される。 利尻島沿岸に赤潮が発生し春鯨の接岸が妨げられ大凶漁。 仙法志シュサンベツ巡査駐在所廃止され仙法志駐在所に合併。
1914	大正 3 年	沓形水産組合設立。 沓形村に巡査部長派出所設置。 沓形村沓神田・亦稚・種屯内・カモイヌカ森林防火組合、仙法志村センハウシ・政泊・山中森林防火組合設立認可。	1926	大正 15 年	沓形漁港完成。 沓形・美也古呂・仙法志小学校に村立青年訓練所併置。
1915	大正 4 年	小樽稚内線と小樽天塩線が合併し小樽稚内甲線・乙線と改正され、甲線は日本郵船が受命して島興から沿岸へ、乙線は藤山要吉が受命して甲線とは逆の航海が行なわれ、仙法志村が新たに寄港地に加えられた。 利尻島初の金融機関支店、百十三銀行沓形派出所開業。 浄土宗専称寺創立。	1927	昭和 2 年	道立水産試験場が沓形沿岸定置観測所を設け水温観測を昭和 40 年まで続けた。 沓形尋常高等小学校で米国世界親善会からの寄贈人形歓迎学芸会開催。 乗合自動車島内を初めて走る。
1916	大正 5 年	仙法志村マオヤニ火災、3 4 戸焼失。 沓形劇場開業。	1928	昭和 3 年	沓形商業組合設立。
1917	大正 6 年	美也頃郵便局開局。 水難救済会沓形救難所創設。	1929	昭和 4 年	仙法志村役場庁舎竣工。 宗谷水産会より独立し沓形水産会・仙法志水産会設立。 民謡詩集『出船の港』(時雨音羽著)発行。
1918	大正 7 年	仙法志御崎の船入澗起工式挙行。 仙法志村シュサンベツ第六区森林防火組合設立認可。	1930	昭和 5 年	仙法志郵便局電話交換業務開始。 小樽新聞社・北日本汽船会社主催による「利尻島見学及び利尻富士登山」旅行が計画されたが、利尻富士登山一行が食中毒に見舞われた。
1919	大正 8 年	8 月 15 日仙法志村で利尻島競馬大会開催。 沓形村ビヤコロ森林防火組合設立認可。			
1920	大正 9 年	7 月 11 日仙法志村で利尻島競馬大会開催。 沓形村日中森林防火組合、仙法志村ベウタケウシ森林防火組合設立認可。			

●西暦	●年号	●事柄	●西暦	●年号	●事柄
1930	昭和 5 年	北海タイムス社主催全道樺太少年野球大会に利礼予選を勝ち抜いて沓形小学校高等科出場。	1941	昭和 16 年	稚内利礼運輸株式会社は稚内・船泊・沓形間の補助航路を受命。
1931	昭和 6 年	真宗大谷派大安寺洗心幼稚園開設。 沓形漁業組合 7 隻の大沓丸を建造し沖合漁業の振興を図る。			国民学校令施行され、沓形・仙法志尋常高等小学校が沓形・仙法志国民学校と改称される。
1932	昭和 7 年	北海タイムス社主催北海道樺太少年野球大会に利礼予選を勝ち抜いて沓形小学校高等科出場。	1942	昭和 17 年	仙法志国民学校創立 50 周年記念式典挙行。
1933	昭和 8 年	仙法志村字名地番改正、新字名地番制定。全道鯉建網漁業の合同漁業株式会社が創立し沓形村・仙法志村に事業区・事業所が設けられる。	1943	昭和 18 年	仙法志国民健康保険組合設立。
		沓形美也古呂漁港（新湊漁港）着手。			帝国在郷軍人会宗谷聯合分会より分離し利礼聯合分会設立。
		仙法志ほっけ潤船入潤（御崎漁港）着手。	1944	昭和 19 年	沓形国民学校創立 50 周年記念式典挙行。
1935	昭和 10 年	水産物検査業務が道営となり水産物検査所宗谷支所管下の沓形派出所・仙法志派出所設置。			沓形商工統制組合飯米貯蔵庫より失火、焼死 1 名、住宅 5 戸類焼し、飯米百数十俵が焼失したため村民への配給米対策に苦慮。
		沓形水産会・仙法志水産会解散し、沓形村漁業組合、仙法志漁業組合となる。	1945	昭和 20 年	沓形村漁業協同組合、仙法志村漁業協同組合改組され、沓形漁業会、仙法志漁業会として発足。
		沓形村公益質屋開設。			稚内土木現業所沓形派出所設置。
1936	昭和 11 年	沓形村字名地番改正、新字名地番制定。	1946	昭和 21 年	稚内利礼運輸株式会社は稚内・鬼脇・仙法志間の補助航路を受命。
		沓形小学校新校舎増改築落成式挙行。			沓形村・仙法志村の在郷軍人分会解散。
		沓形・仙法志尋常高等小学校に青年学校併置。			仙法志劇場開業。
		沓形村漁業組合、仙法志村漁業組合が改組、無限責任沓形村漁業協同組合、無限責任仙法志村漁業協同組合発足。	1947	昭和 22 年	稚内利礼航路が国鉄連絡航路として指定され、鉄道との連携化がはかられた。
1937	昭和 12 年	丸一水産（翌年に稚内利礼運輸株式会社と改称）が道庁補助航路として稚内・鷺泊・香深間の稚内利礼航路の運行を開始した。			仙法志婦人会結成。
		稚内利礼行路の開設により小樽稚内線は稚内への寄港を取り止め名称も小樽利礼線と改めた。			選挙管理委員会設置。
1938	昭和 13 年	沓形村漁業協同組合、埋立地に製氷貯蔵庫創設。	1948	昭和 23 年	学校制度改革により国民学校が村立小学校と改称（各小学校に併置）、新制中学校が設置され、沓形中学校、仙法志中学校、仙法志中学校久連分校がそれぞれ開校。
		美也古呂尋常小学校青年学校が新湊尋常小学校青年学校と改称される。			仙法志漁業会冷凍工場竣工。
1939	昭和 14 年	水難救済会鬼脇救難所仙法志支所が分離し仙法志救難所となる。	1949	昭和 24 年	久連小学校開校 50 周年記念式典挙行。
		利尻山沓形登山道路開通。			沓形村警防団を沓形村消防団に改組。
		沓形消防組を沓形警防団に改組。			仙法志村警防団を仙法志村消防団に改組
		仙法志消防組を仙法志警防団に改組。			沓形村開校 50 周年記念式典挙行。
		道立水産試験場、沓形に利尻事業区を設置し 4 村に事業場を設け春鯉人工孵化事業を行なった。			『島物がたり』（時雨音羽著）発刊。
		小樽利礼航路藤山海運所有の樺太丸、猛吹雪により沓形栄浜海岸座礁。	1950	昭和 25 年	9 月 28 日沓形村を町とする〔告示〕11. 1 施行。
1940	昭和 15 年	久連尋常小学校に高等科が設置され久連尋常高等小学校となる。			沓形・仙法志漁業会が解散し、それぞれ漁業協同組合発足する。
		沓形村にて帝国在郷軍人会宗谷聯合分会主催紀元 2600 年記念演習祝典開催。			沓形漁業協同組合が沓形診療所開設。
					利尻礼文道立自然公園指定。
					沓形町消防団常備部設置。
					利尻電気利用組合発足、沓形町に事務所・内燃力発電所建設設置。
					沓形港、港湾法の施行により地方港湾指定。
					沓形漁業協同組合が漁業用海岸無線局設置。

●西暦	●年号	●事柄	●西暦	●年号	●事柄
1950	昭和 25 年	稚内信用金庫沓形支店開業。	1959	昭和 34 年	利尻町開基 60 周年記念合併 3 周年記念式典挙行。
1951	昭和 26 年	稚内土木現業所沓形派出所廃止し、沓形出張所設置。	1960	昭和 35 年	沓形岬に「出船の港」詩碑建立 時雨音羽氏来町。
		田中敏文穂北海道知事来町。			利尻町国民健康保険仙法志診療所落成。
		仙法志村開村 50 周年記念式典挙行。			稚内保健所利尻出張所、東利尻町から利尻町沓形に移転。
		仙法志漁港第 4 種漁港に指定。			沓形防犯協会を改組し利尻町沓形防犯協会を発足。
		沓形中学校新校舎落成。			『日本百名山』著深田久弥、利尻岳登山。
		北海道開発局稚内建設部沓形港事業所設置。			沓形岬に霧信号所設置。
		北海道銀行沓形支店開業。	1961	昭和 36 年	利尻町国民健康保険病院開院。
		『仙法志村五十年史考』発刊。			町立沓形保育所開所。
1952	昭和 27 年	沓形町教育委員会、仙法志村教育委員会設置。	1962	昭和 37 年	辺地振興法の指定受ける。
		宗谷バス株式会社利尻営業所開業。			佐野清町長退職、小田桐清実町長就任。
		仙法志漁港築港工事着手。			自衛隊第 2 師団により利尻高等学校グラウンド・久連小中学校グラウンド新設工事着工。
		東京大相撲沓形場所開催。			稚内土木現業所沓形出張所、沓形字泉町 68 番地に庁舎新築。
		沓形連合婦人会発足。	1963	昭和 38 年	義宮正仁親王殿下来町。
1953	昭和 28 年	利尻郡町村電気組合設立、沓形町に事務所設置。			町立仙法志保育所開所。
		港湾法により沓形町が沓形港の港湾管理者となる。			利尻ハイヤー株式会社開業。
		新湊漁港・御崎漁港第 1 種指定。			NHK 声くらべ腕くらべ子供音楽会開催。
		沓形漁業協同組合による沓形診療所経営が沓形町に移管。			利尻町商工会設立。
		沓形小学校屋内運動場でNHK素人のど自慢開催。			蘭泊漁港第 1 種指定。
1954	昭和 29 年	離島振興法の指定受ける。			沓形中学校第 14 回全道少年野球旭川大会にて準優勝。
		東京大相撲沓形場所開催。			酒本俊平氏初の利尻町名誉町民。
		利尻映画劇場開業。			5 月 15 日沓形市街大火、236 戸焼失。
		2 月沓形岬で鰯釣船 5 隻遭難、21 人の死者が出る。	1964	昭和 39 年	5 月 16 日町災害対策本部、沓形中学校に設置。
1955	昭和 30 年	稚内利礼航路に初の鋼鉄船利尻丸(202t)就航。			罹災者収容のため沓形小学校ほか 4 力所に避難所開設。
		宗谷米穀株式会社、沓形で営業開始。			沓形市街大火視察のため町村北海道知事道庁幹部職員来町。
		日刊宗谷新聞社沓形支局開設。			現地救援のため自衛隊第二師団第三普通科連隊派遣要請。
		稚内信用金庫仙法志支店開業。			広報りしり第 1 号「大火特集」を組んで発行。
1956	昭和 31 年	美也頃郵便局は新湊郵便局と名称改正。			稚内土木現業所沓形出張所を廃止し、利尻出張所設置。
		9 月 12 日に沓形町と仙法志村合併し利尻町となる〔告示〕9.30 施行。			『島の風土記 利尻・礼文』小田桐清実著)発刊。
		初代町長 井田定勝。			NHK 3 つの歌開催。
		小樽利礼航路に新造船おたる丸(312t)就航航海時間が 6 時間短縮。			『日本百名山』(深田久弥著)発刊。
		仙法志映画劇場開業。			
		沓形神居沖で鰾定置網船 6 隻、定置網 4 力統遭難、35 人の死者が出る。			
1957	昭和 32 年	町立利尻高等学校開校。			
		利尻島消防本部設置。			
		佐野清町長就任。			
		高松宮殿下妃殿下ヘリコプターにて来町。			
1958	昭和 33 年	沓形町消防団と仙法志村消防団合併し利尻町消防団に改組改称。			
		沓形漁業協同組合荷捌所落成。			

●西暦	●年号	●事柄	●西暦	●年号	●事柄
1965	昭和 40 年	松浦運輸大臣沓形大火復興視察のため来町。 利尻礼文国定公園指定。 町営碎石事業開始。 利尻電気業協同組合連合会発足。 利尻町公民館開館。 沓形漁業協同組合事務所冷凍工場落成。 新湊小学校校舎改築落成。 沓形保育所新築落成。 利尻高等学校、道に移管され道立利尻高等学校となる。 利尻町消防本部廃止。 沓形地区「愛の鐘」設置。 利尻町役場庁舎落成。 沓形市街地都市計画区域設定を建設省告示。 NHKテレビ中継局礼文町香深に建設、沓形地区受信可能となる。	1969	昭和 44 年	水難救済会沓形救難所詰所落成。 仙法志漁業協同組合荷捌所落成。 第 1 回道民スポーツ大会駅伝競走利尻町で開催。 NHK 全国中継ラジオ体操会開催。 稚内利礼航路に最初のカーフェリー第一宗谷丸（537 t）就航。 「第 1 回りしり浮島まつり」開催。 仙法志字神磯に良質の水源発見。 自衛隊支援のもとに車道利尻登山線工事開始。沓形天望山公園完成。 利尻島海岸に流水接岸。
1966	昭和 41 年	利尻町大火復興記念式挙行。 町村北海道知事来町。 NHK 慰安演芸会開催。 栄浜灯台灯火。	1970	昭和 45 年	久連小学校開校 70 周年、久連中学校開校 20 周年記念式典祝賀会挙行。 利尻町総合研修センター開館。 仙法志御崎燈台完成。 公営住宅富野丘団地竣工。 老人医療無料化実施。 陸上自衛隊第 2 師団作業隊による利尻車道線開設第 2 期工事開始。 岸信介元首相・衆議院議員来町。 堂垣内尚弘北海道知事来町。
1967	昭和 42 年	利尻町保健福祉館開館。 町営ユースホステル竣工。 沓形漁業協同組合新湊荷捌所落成。 掃海艇「りしり」「れぶん」命名のため沓形港入港。 利尻礼文国定公園記念切手発売。 沓形・仙法志婦人団体、利尻町婦人団体連絡協議会結成。	1971	昭和 46 年	過疎及び広域振興法指定。 久連小学校開校 70 周年、久連中学校開校 20 周年記念式典祝賀会挙行。 利尻町総合研修センター開館。 仙法志御崎燈台完成。 公営住宅富野丘団地竣工。 老人医療無料化実施。 陸上自衛隊第 2 師団作業隊による利尻車道線開設第 2 期工事開始。 岸信介元首相・衆議院議員来町。 堂垣内尚弘北海道知事来町。
1968	昭和 43 年	「一円融合の和」を表徴した町章制定。 町村北海道知事ユースホステル・保健福祉館竣工式のため来町。 稚内保健所利尻出張所が稚内保健所利尻支所となり、庁舎新築。 NHK 仙法志テレビ中継局開局。 STV テレビ礼文中継局礼文町香深に建設。 北海道百年記念宗谷地方スポーツ大会利尻島駅伝競走が利尻町で開催。 蘭泊小学校廃校、沓形小学校に統合。 沓形・仙法志防犯協会が合併し利尻町防犯協会設立。 「チシマザクラ自生地」北海道天然記念物指定。	1972	昭和 47 年	稚内利礼航路に大型カーフェリー第二宗谷丸（988 t）就航。 沓形地区に簡易水道敷設、通水。 利尻電気利用組合解散、利尻電業株式会社設立。 利尻町校外補導連絡協議会発足。 仙法志字御崎に「自然磯観察場」オープン。 陸上自衛隊第 2 師団作業隊による利尻車道線第 3 期工事完成。 利尻富士愛護少年団結成。 『利尻電気の歩み』発刊。 利尻電気漁業協同組合連合会が北海道電力株式会社へ移管。
1969	昭和 44 年	利尻町開基 70 年記念式典挙行。 利尻町民憲章制定。 沓形小学校改築工事竣工。 利尻山登山道路見晴台（七合目）に避難小屋設置。 天望山公園に天望休憩舎完成。 利尻町役場仙法志支所改築竣工。 沓形神居地区に良質の水源発見。	1973	昭和 48 年	「利尻町総合振興計画」策定。 利尻礼文消防事務組合発足し、消防本部及び消防署設置される。 利尻郡学校給食組合発足。 町営国民宿舎「りしり」開業。 仙法志寿の家完成。 稚内利礼航路寄港地整理により仙法志が通年寄港地からはずされた。 沓形地区の電話ダイヤル自動通話となる。 広域行政施設ごみ焼却処理場完成。 公安委員会指定交通信号機新設。 札幌エルムライオンズクラブ寄贈による利尻初のパトカー配置。

●西暦	●年号	●事柄	●西暦	●年号	●事柄
1973	昭和 48 年	仙法志明照園日曜学校開校。 「北嶺ボール」オープン。	1978	昭和 53 年	10 月 沓形中学校屋内運動場改築工事 竣工・開校 30 周年記念式典挙行。
1974	昭和 49 年	利尻礼文サロベツ国立公園指定。 沓形寿の家完成。 稚内利礼航路寄港地整理により鬼脇が通年寄 港地からはずされた。 仙法志地区簡易水道敷設事業着手。 町民屋内運動場、仙法志に完成。 仙法志に水産種苗センター設置。 利尻町議会議員選挙（定員 18 名）。 井田定勝氏・山本高司氏利尻町名誉町民。 『利尻礼文両島の高山植物とその景観』 （松野力蔵著）発刊。	1979	昭和 54 年	11 月 仙法志除雪センター完成。 4 月 利尻町沓形婦人防火クラブ発足。 7 月 町の花チシマザクラ・エゾカンゾ ウ、町の木ハイマツ、町の鳥リシ リコマドリ指定。 8 月 利尻町開基 80 年記念式典挙行。 9 月 新湊小学校屋内体育館改築工事竣 工。
1975	昭和 50 年	仙法志地区簡易水道敷設工事完成、通水。 利尻町交通事故死ゼロ 1,500 日達成記念駅伝 第 1 回大会開催。 堂垣内尚弘北海道知事来町、移動知事室開催。 利尻島内の航路標識事務所沓形に集約。 北海道銀行利尻支店閉鎖。 沓形漁業協同組合製氷冷凍施設新築落成。 仙法志漁業協同組合冷凍冷蔵施設新築落成。 沓形地区除雪センター車庫完成。	1980	昭和 55 年	3 月 「利尻町新総合計画」策定。 久連中学校廃校・仙法志中学校に 統合。 5 月 利尻町民センター・利尻町立博物 館落成。 利尻町少年消防クラブ発足。 7 月 利尻礼文少年婦人防火委員会発 足。 9 月 堂垣内尚弘北海道知事来町。 10 月 消防署仙法志分遣所新築落成。 11 月 利尻町アワビ種苗中間育成センタ ー完成。
1976	昭和 51 年	久連小中学校舎体育館竣工式祝賀会挙行。 陸上自衛隊第 2 師団による新湊小学校グランド 新設工事完成。 稚内利礼航路寄港地整理により沓形・船泊が 通年寄港地からはずされた。 仙法志地区の電話ダイヤル自動通話となる。 沓形漁業協同組合栽培漁業センター完成。 『「出船の港」と利尻島』（時雨音羽著）発刊。			12 月 見返台園地駐車場完成。 仙法志地区「愛の鐘」設置。 利尻礼文防火管理協会利尻支部発 足。 沓形港 1,000 t 級フェリー岸壁完 成。 民放テレビ HBC・STV・UHB・HTB の中継局が仙法志御崎 に建設され、町内の難視聴が解 消。 漁船上架施設完成（沓形港）。
1977	昭和 52 年	4 月 亦稚貝塚発掘調査が行われ、鈴谷文化・ オホーツク文化の貴重な遺物が出土。 6 月 利尻高校野球部春の全道高校野球大会 で準優勝。 小樽利礼航路「第五むろと丸」就航。 12 月 交通事故死ゼロ 2,000 日達成記念式典 挙行。 句集『良夜』（清水蛭月著）発刊。	1981	昭和 56 年	4 月 交通事故死ゼロ記録 1,000 日達成 （4 月 10 日）。 5 月 稚内市・利尻町交流懇談会開催。 『利尻島の水産だより』発行。 稚内～沓形間 1,000 t 型カーフェ リー就航。 6 月 小樽・沓形・香深間にカーフェリ ーおたる丸（998 t）が就航。 7 月 見返台園地展望休憩舎完成。 新湊小学校開校 80 周年記念式典 挙行。 8 月 第六次沓形港拡張整備着手。 9 月 沓形港上屋（旅客ターミナル）完 成。 沓形港発展の礎を築いた能越甚作 胸像建立。 久連小学校開校 80 周年記念式典 挙行。
1978	昭和 53 年	4 月 小樽利礼経済交流会見本市開催。 6 月 仙法志中学校グランド完成。 7 月 交通事故死ゼロ記録 2,590 日でストッ プ（7 月 15 日）。 8 月 小田桐町長任期満了による退任、小島 光男町長就任。 民間放送テレビ UHB・HTB 中継所 が礼文町香深に建設され、沓形と仙法 志一部の難視聴が解消。 9 月 利尻町議会議員選挙。 仙法志中学校屋内運動場改築工事竣 工・開校 30 周年記念式典挙行。			

●西暦	●年号	●事柄	●西暦	●年号	●事柄
1981	昭和 56 年	9 月 交通事故死ゼロ記録 1,158 日でストップ（9 月 16 日）。 ウニ人工採苗に成功。	1984	昭和 59 年	5 月 カーフェリー「第 10 宗谷丸」就航。
		11 月 灯油備蓄タンク（東利尻町）完成し島民の灯油価格の安定を図る。			6 月 全道高等学校野球選手権大会第 31 回北北海道大会名寄支部予選大会利尻町営球場で開催。 交通事故死ゼロ記録 1,000 日達成。
1982	昭和 57 年	4 月 結核予防対策推進の優良として総裁賞（秩父宮妃殿下）受賞。 勲五等双光旭日章松野義男氏受章。 利尻町沓形・仙法志幼年消防クラブ発足。			7 月 横路孝弘北海道知事来町、沓形岬公園で青空対話集会開催。
		6 月 NHK 銀河テレビ小説「北航路」利尻島でロケ。 利尻町婦人団体連絡協議会 15 周年記念式典挙行。			10 月 利尻町テニスコート・冒険広場・ふれあい広場完成。 国民年金事業推進の優良として厚生大臣表彰受賞。
		7 月 箕輪登郵政大臣来町。			11 月 生活排水処理施設完成（沓形泉町）。
		9 月 利尻町議会議員選挙。			12 月 さけますふ化場完成。
		11 月 『利尻を想う』（武田豊作著）発刊。	1985	昭和 60 年	1 月 新生活運動推進協議会発足。
1983	昭和 58 年	3 月 第 29 回全国漁村青壮年婦人活動実績発表大会増養殖部門で北海道代表の新浜秀一氏が農林水産大臣賞受賞。			3 月 流水接岸沿岸海産物等に約 4 億 3 千万円被害。
		4 月 利尻礼文消防事務組合創立 10 周年記念式典挙行。			4 月 小島光男利尻町長死去町葬執行。
		5 月 日本海中部沖地震により津波発生し潮位 82 cm に達した。			5 月 利尻町長選挙保野力雄氏当選。 さけ稚魚 210 万尾初放流。
		6 月 宗谷支庁管内老人芸能コンクール大会開催。			6 月 『利尻郷土研究』創刊号（利尻郷土史研究会）発刊。
		8 月 新湊漁港栄浜分港起工式。 宗谷支庁管内社会福祉大会開催。 利尻町戦没者追悼式挙行。			7 月 河本北海道開発庁長官来町。
		9 月 利尻町運動公園（野球場・水泳プール）オープン。			8 月 利尻島国保中央病院完成。
		10 月 沓形小学校開校 90 周年記念式典挙行。			10 月 運動公園憩いの広場完成。 交通事故死ゼロ 1,500 日達成。
		11 月 利尻礼文消防事務組合、消防本部、消防署庁舎落成。 第 1 回利尻町子供文化の集い開催。 利尻町ウニ種苗中間育成センター完成（100 万粒）。	1986	昭和 61 年	11 月 利尻町バレーボールクラブ全国青年大会準優勝。
		12 月 沓形漁業協同組合青年部「チェーン振」天皇杯受賞。 利尻町老人福祉センター完成。 利尻町老人福祉寮完成。 利尻島ロータリークラブ結成。			2 月 利尻町行政改革大綱策定。
					3 月 伝染病隔離病舎廃止。
					5 月 古賀北海道開発庁長官来町。
					6 月 利尻町赤十字奉仕団結成。
					8 月 浩宮徳仁親王殿下御来島利尻山登山、沓形ルート下山。
					9 月 利尻町議会議員選挙（定員 16 名）。
					11 月 沓形警察官駐在所庁舎新築。 生活排水処理施設完成（沓形日出町）。 ヒラメ養殖実験事業開始。
1984	昭和 59 年	3 月 流水接岸沿岸海産物等に約 5 億 6 千万円被害。 名誉町民井田定勝氏死去町葬執行。 『広域消防 10 年のあゆみ』発刊。			12 月 仙法志漁港リフト式漁船上架施設完成。
		4 月 稚内開発建設部沓形港修築事業所、稚内開発建設部沓形港湾建設事業所と改称。	1987	昭和 62 年	3 月 久連小学校廃校式挙行。 交通事故死ゼロ記録 2,000 日達成。
					4 月 結核予防対策推進の優良として秩父宮妃殿下より表彰受賞。

●西暦	●年号	●事柄	●西暦	●年号	●事柄
1987	昭和 62 年	5 月 サクラマス・アワビの海中養殖実験事業開始。 6 月 利尻山登山道九合目付近（三眺山）において山火事発生、消火のため陸上自衛隊出動。 綿貫北海道開発庁長官来町。 7 月 アワヨトウ虫異常発生。 8 月 利尻高等学校 30 周年及び新校舎新築記念式典挙行。 9 月 利尻町役場庁舎新築落成。 10 月 仙法志漁港（外郭施設 408.8m 繫留施設 157.8m）完成。 『りしりのむかしばなし』（工藤浄真著）発刊。 12 月 沓形港 3,000 t 級フェリー岸壁完成。	1990	平成 2 年	国設利尻酸性雨離島局新築落成。 12 月 沓形港 2,000 t 級フェリー岸壁完成。
1988	昭和 63 年	7 月 利尻島「あわびの里」完成。 8 月 交通事故死ゼロ記録 2,515 日でストップ（8 月 6 日）。 利尻町沓形歯科診療所完成。 9 月 沓形漁業協同組合婦人部創立 30 周年記念大会開催。 10 月 小樽利礼航路に第二宗谷丸就航。 11 月 利尻町砕石事業所事務所新築落成。 利尻町公民館新築落成。 第 1 回町民芸能祭開催。 生活排水処理施設完成（沓形種富町）。 勲五等瑞宝章惣万惣市氏受章。	1991	平成 3 年	3 月 利尻聖苑火入式。 5 月 利尻島海底探勝船運航開始。 6 月 谷北海道開発庁長官来町。 横路北海道知事来町。 7 月 交通事故死ゼロ記録 712 日でストップ（7 月 14 日）。 8 月 小樽利礼三町児童交流育成事業 10 周年記念式典挙行。 9 月 第 1 回利尻町健康まつり開催。 10 月 利尻町宿泊施設建設工事完成。 11 月 利尻島国保中央病院に C T スキャナー導入。 沓形種富町海岸に木材運搬船座礁。
1989	平成元年	3 月 『第 3 次利尻町総合振興計画』策定。 4 月 「みんなで創るふるさと振興事業助成制度」開始。 5 月 カーフェリー「ニュー宗谷」就航。 6 月 沓形港西突堤改修工事完成。 7 月 客船「オセアニックグレース」入港。 利尻町砕石プラント完成。 8 月 利尻町開基 90 年記念式典挙行。 交通事故死ゼロ記録 360 日でストップ（8 月 1 日）。 10 月 第 1 回利尻島一周ふれあいサイクリング大会開催。	1992	平成 4 年	4 月 利尻町社会福祉協議会が社会福祉法人としてスタート。 利尻町防災行政無線局開局。 沓形港防波堤（島堤）工事開始。 5 月 利尻町宿泊施設「ホテル利尻」落成。 6 月 カーフェリー「クイーン宗谷」就航。 8 月 富山県新湊市少年スポーツ文化交流団来町。 伊江北海道開発庁長官来町。 9 月 仙法志小学校創立 100 周年記念式典挙行。 11 月 生活排水処理施設完成（沓形本町・富士見町）。 仙法志明照園日曜学校開校 20 周年記念式典挙行。
1990	平成 2 年	4 月 沓形保育所新築落成。 「りしり町議会だより」創刊号発行。 6 月 稚内利礼三町議会議員交流会開催。 利礼救難所連合会創立 20 周年記念式典挙行。 7 月 北光星第六句碑建立除幕式。 句集『島山』（金田一波著）発刊。 9 月 利尻歯科仙法志診療所新築落成。 利尻町商工会館新築落成。 10 月 利尻町議会議員選挙。 11 月 利尻聖苑新築完成。	1993	平成 5 年	4 月 利尻町「オリジナル街路灯」点灯。 利尻町長選挙糸谷克明氏当選。 市立稚内病院と利尻島国保中央病院を結ぶ医用画像電送システム（フォト・フォン）が作動開始。 利尻郡清掃施設組合「一般廃棄物最終処分場」完成。 5 月 保野力雄利尻町長任期満了により退任。 仙法志小学校創立 100 周年記念誌『飛翔』発刊。 6 月 勲五等瑞宝章故牧野吉太郎氏受章。 10 月 沓形小学校開校 100 周年記念式典挙行。

●西暦	●年号	●事柄	●西暦	●年号	●事柄
1993	平成5年	10月 『組合消防20年のあゆみ』発刊。 12月 小樽利礼航路（北海商船フェリー株式会社）閉航（12月28日）。	1995	平成7年	勲五等双光旭日章加藤孝三郎氏受章。
1994	平成6年	1月 コミュニティ消防センター落成。 3月 津波地震観測施設が利尻島（鬼脇）に設置され、津波予防発表時間が大幅に短縮される。 『杓形小学校開校100周年記念誌』発刊。 4月 利尻町特別養護老人ホーム「ほのぼの荘」開所。 5月 利尻町森林公園開園。 杓形市街地大火30周年記念パレード。 6月 北見富士神社本殿が完成し、正遷座祭が行われる。 7月 杓形岬公園に「ミニビジターセンター」開設。 エアー北海道の稚内―利尻・礼文線初便就航し、エアー日本から引き継ぎがされる。 交通事故死ゼロ記録965日でストップ（7月22日）。 客船「サンシャインふじ」入港。 客船「飛鳥」寄港。 利尻大志館新築落成。	1996	平成8年	12月 利尻町行政改革推進本部設置。 3月 利尻町行政改革推進委員会設置。 RORO船「六甲エクスプレス号」就航。 4月 「自然の家」オープン。 利尻町防災システム完成（職員参集、非常放送、津波観測、地震観測）。 5月 福島県知事会津藩士の墓参来町。 6月 勲五等瑞宝章故三輪博久氏受章。 客船「にっぽん丸」寄港。 7月 利尻山杓形登山道九合目付近で落石発生。 8月 会津若松市長・同市議会議長会津藩士の墓参来町。 下水道事業地区説明会開始。 会津藩士顕彰碑除幕式挙行。 9月 第28回道民スポーツ宗谷夏季大会（バレーボール・ソフトミニバレーボール大会）開催。
1995	平成7年	12月 見返台園地天望休憩舎改築完成。 1月 「ふるさと定住促進制度」スタート。 仙法志保育所新築落成。 2月 10年ぶりに流氷接岸（利尻島）。 3月 カーフェリー「プリンス宗谷」就航。 杓形漁協冷凍冷蔵加工施設完成。 郵政省において「郵便局の生き生き情報交流サービス」の情報提供都市として利尻町が指定される。 4月 仙法志郵便局舎完成。 杓形港に新漁船上架施設完成。 5月 杓形港に3,000t級カーフェリー出入港する。 9月 堀達也北海道知事来町「ふれあいトーク」開催。 杓形郵便局舎完成。 10月 利尻町総合体育館「夢交流館」新築落成。 餌料用促成コンブ種苗生産施設完成。 11月 大型低気圧のため瞬間最大風速31.9mを記録し家屋等に被害。	1997	平成9年	1月 利尻町ふれあい保養センター準天然「トロン温泉」落成。 3月 利尻島国保中央病院産婦人科外新病棟落成。 4月 交通事故死ゼロ「1,000日」達成。 利尻町ふれあい休憩施設落成。 5月 利尻町長選挙田島順逸氏当選。 糸谷克明町長任期満了により退任。 6月 昆布干し体験参加者来町。 7月 カーフェリー「アインス宗谷」就航。 「北海道漁港の日」記念式典挙行（仙法志漁港）。 '97北のてっぺん車いすトレッキング事業開催。 8月 利尻・利尻富士町サイクリングロードオープン記念式典挙行（大磯駐輪場）。 勲五等瑞宝章故大腰金治郎氏受章。 9月 利尻町パークゴルフ場オープン。 10月 利尻町立杓形中学校・仙法志中学校創立50周年記念式典挙行。 11月 勲五等瑞宝章不破保氏受章。 天望山スキー場拡張整備完成。 運動公園野球場夜間照明施設完成。

●西暦	●年号	●事柄	●西暦	●年号	●事柄
1998	平成 10 年	3 月 高齢者生活福祉センター・在宅介護支援センター「希望」落成。 4 月 勲五等瑞宝章故関直太郎氏受章。 5 月 鈴木宗男北海道開発庁、沖縄開発庁長官来島。 6 月 第 30 回道民スポーツ宗谷夏季大会（パークゴルフ大会）開催。 客船「ふじ丸」寄港。 8 月 全日本 9 人制バレーボール総合選手権大会北海道予選会開催。 交通事故死ゼロ「1,500 日」達成。 9 月 客船「ばしふいっくびいなす」寄港。 利尻町議会議員選挙。 第 30 回道民スポーツ宗谷夏季大会（剣道大会）開催。 10 月 仙法志中学校海浜留学「夢の浮島利尻町の大自然で学ぶ会」設立。	2001	平成 13 年	12 月 利尻町交流促進施設「どんと」完成。
			2002	平成 14 年	4 月 利尻町沓形浄化センター通水式。 利尻町交流促進施設「どんと」落成記念式典挙行。 6 月 利尻町交流促進施設落成記念事業「能楽公演」開催。 7 月 ヘリコプター体験学習。 8 月 堀北海道知事来町「離島振興懇話会」開催。 勲五等双光旭日章故原崎竹治氏受章。 9 月 利尻町議会議員選挙。 12 月 利尻町高齢者共同生活施設「友愛」落成記念式典挙行。
1999	平成 11 年	1 月 沓形小学校屋内運動場新築落成。 勲五等双光旭日章故濱岸正氏受章。 5 月 開基 100 年記念植樹。 6 月 利尻空港開港記念式典 利尻・千歳線ジェット機就航。 7 月 開基 100 年記念事業。（ウイーン・シューベルト少年合唱団公演、全日本男子バレーボール紅白試合）。 8 月 開基 100 年記念式典挙行。 帆船「日本丸」寄港。 開基 100 年記念事業（ポリショイサーカス公演、中学生海外交流サハリン視察、水産まつり、道警音楽隊来町、夢の浮島利尻島演歌まつり）。 11 月 開基 100 年記念事業。（時雨音羽生誕 100 年祭）。	2003	平成 15 年	4 月 エアーニッポン・ネットワーク千歳・利尻線通年運航初便式。5 月カーフェリー「ボレアース宗谷」就航。 高橋北海道知事来島「まちかど対話 2 1 2」開催。 全国離島振興対策協議会総会開催。 交通事故死ゼロ記録 570 日でストップ（5 月 29 日）。 8 月 片山虎之助総務大臣来町。 10 月 利尻町・利尻富士町任意合併協議会設立。 11 月 旭日双光章高島光夫氏受章。
			2004	平成 16 年	1 月 利尻町・利尻富士町任意合併協議会に礼文町が加入し、名称を利礼 3 町任意合併協議会に変更。 4 月 仙法志クリーンセンター通水式。 5 月 ホテル利尻「汐さい館」増築完成。 6 月 利尻島国保中央病院眼科診療開設。 利礼 3 町任意合併協議会から礼文町が脱退し、名称を利尻町・利尻富士町任意合併協議会に変更。 9 月 台風 18 号による被害発生（1 名死亡）。 海藻おしば押し花融合コンクール開催。 利尻町・利尻富士町任意合併協議会解散。 11 月 旭日単光章名達直蔵氏受章。
2000	平成 12 年	1 月 交通事故死ゼロ「2,000 日」達成。 4 月 勲五等双光旭日章西島松雄氏受章。 6 月 沓形港浮桟橋完成。 8 月 福井県坂井郡芦原町と御崎・元村地区住民との懇談会開催。 9 月 道民スポーツ宗谷夏季大会（ソフトミニバレーボール大会）開催。 12 月 利尻建設協会と災害時に関する協定締結。			
2001	平成 13 年	5 月 カーフェリー「フィルイーズ宗谷」就航。 6 月 客船「おりえんとびいなす」寄港。 7 月 利尻島国保中央病院「人工透析診療」開始。 9 月 地域道民円卓会議開催。 11 月 交通事故死ゼロ記録 2,660 日でストップ（11 月 3 日）。 利尻カムイ発電所（風力）安全祈願祭・祝賀会挙行。	2005	平成 17 年	4 月 利尻ふれあい温泉開湯式挙行。 5 月 利尻町議会議員補欠選挙。 日本百名山利尻ふれあいの足湯オープン。佐藤福島県知事、管家会津若松市長墓参来町。

●西暦	●年号	●事柄	●西暦	●年号	●事柄
2005	平成 17 年	9 月 利尻町新行財政改革大綱策定。	2011	平成 23 年	4 月 利尻町地域情報通信基盤事業始まる（ＢＢ網・ＩＰ網・地デジ再送信）。
2006	平成 18 年	2 月 交通事故死ゼロ「1,000 日」達成。			日本赤十字社北海道支部に「東日本震災」義援金を届ける。
		6 月 客船「ふじ丸」、「ぱしふいっくびいなす」杓形港入港。			5 月 サッポロドラックストアオープンセレモニー。
		7 月 巡視船「れぶん」体験航海。			6 月 宗谷地区老人クラブ連合会パークゴルフ大会開催。
		8 月 利尻ふれあい温泉来館者 10 万人達成			杓形港耐震強化岸壁-7.5m完成
		10 月 大空沢豪雨による被害発生。			7 月 第 24 回反核平和の火リレー利尻地区出発式。
2007	平成 19 年	6 月 旭日単光章故町村幸司氏受章。藍綬褒章斉藤政一氏受章。			9 月 ANA 利尻千歳最終便見送り、HAC 利尻丘珠初便就航記念セレモニー。
		8 月 高橋北海道知事来町「まちかど対話」開催。			11 月 映画「北のカナリアたち」制作発表会記者会見、東京で開催。
		9 月 利尻高等学校創立 50 周年記念式典。りしり石蔵文化ぎやらリーオープニングセレモニー（島の駅「海藻の里」利尻）。	2012	平成 24 年	5 月 映画「北のカナリアたち」最北協議会設立総会。
		北海道民有林治山事業 60 周年記念宗谷植樹祭実施。			交通事故死ゼロ記録 1,000 日達成。
2008	平成 20 年	11 月 仙法志漁港着工式典挙行。			7 月 映画「北のカナリアたち」利尻ロケ終了記念感謝の夕べ。稚内警察署仙法志駐在所開所式。岳風会普及の為に吟詠発表会。
		1 月 利尻四漁業協同組合合併。			9 月 第 52 回利礼六地区親睦野球大会。
		6 月 利尻ふれあい温泉来館者 20 万人達成			10 月 HAC 利尻丘珠間離島住民航空運賃割引制度始まる。
		8 月 仙法志中学校海浜留学制度 10 周年記念事業開催。			11 月 映画「北のカナリアたち」利尻町内上映会。
		会津藩北方警備 200 周年記念「会津ゆかりの地を尋ねて・利尻島墓参交流会」開催。	2013	平成 25 年	1 月 旭日双光章、越智力氏受章。
		11 月 瑞宝単光章三浦敬子氏受章。			4 月 利尻町長選挙田島順逸氏再当選（4 期目）。
		交通事故死ゼロ 2,000 日達成記念交通安全大会実施。			5 月 札幌医大連携協定調印。
2009	平成 21 年	2 月 町政懇談会実施。			海上自衛隊自衛艦「すおう」杓形港入港。
		3 月 新湊小学校閉校記念式典・惜別の会。			7 月 利尻町すこやかロード除幕式。
		4 月 利尻町長選挙田島順逸氏再当選（4 期目）。			一般財団法人北海道電気保安協会と災害時に関する協定締結。
		5 月 利尻町みどり豊かなまちづくり推進委員会「利尻町開基 110 周年記念植樹祭」実施。			9 月 道警音楽隊来町。
		7 月 小泉純一郎元内閣総理大臣来島。			交通事故死ゼロ 1,500 日達成。
		8 月 旭日単光章故寺崎政美氏受章。			10 月 陸上自衛隊第 2 音楽隊巡回演奏会。
		交通事故死ゼロ記録 2,265 日でストップ。	2014	平成 26 年	2 月 高橋はるみ北海道知事来町。
2010	平成 22 年	3 月 北海道コカコーラボトリング(株)と災害対応型自販機協同事業協定手交式。			利尻ふれあい温泉来館者 50 万人達成。
		5 月 利尻ふれあい温泉来館者 30 万人達成			3 月 北海道再生可能エネルギー等導入推進事業（総合体育館）完成
		6 月 高橋はるみ北海道知事来町。町民と意見交換会。			5 月 杓形港クルーズ船見送り隊設立
		7 月 北海道大学大学院農学研究院・大学院農学院及び農学部・利尻町・利尻富士町・礼文町連携協定調印式。			6 月 アメリカ総領事館ゴーク首席領事来町。
		8 月 北海道エルピーガス災害対策協議会と災害時に関する協定締結。			
		12 月 NTT 東日本ファミリーコンサート地上デジタル放送開始（利尻町）。			

●西暦	●年号	●事柄	●西暦	●年号	●事柄
2014	平成 26 年	7 月 北海道電力(株) 沓形発電所 9 号機 (1250kWh) 竣工。 8 月 程永華中華人民共和国駐日特命全権大使来庁。 豪雨による災害発生 (礼文町土砂崩れにより 2 名死亡)。 9 月 海上自衛隊掃海艦「ながしま」沓形港入港。 利尻町議会議員一般選挙。 10 月 戸籍電算システム稼働。	2017	平成 29 年	11 月 戸籍事務の電算化。 FM わっかない利尻中継局完成記念事業。 12 月 FM わっかない利尻中継局正式運用。 アメリカマクドナルド友の会谷田部会長来日に伴い利尻町来訪。
2015	平成 27 年	2 月 交通事故死ゼロ記録 2,000 日達成。 3 月 離島の低炭素地域づくり推進事業。(利尻町役場) 完成。 5 月 沓形港フェリーターミナルボーディングブリッジ供用開始。 9 月 NHK ラジオ公開録音「真打ち競演」。利尻町立利尻中学校建設工事安全祈願祭。 全道へき地複式研究大会宗谷大会 (仙法志小学校、仙法志中学校)。	2018	平成 30 年	2 月 利尻ふれあい温泉来館者 70 万人達成。 4 月 利尻くつがた郵便局と包括的連携に関する協定締結。 5 月 ヒグマ利尻島上陸 (106 年ぶり)。 6 月 利尻町公営塾「まなび café Ri-shi」開設。 7 月 NHK ラジオ「かんさい発・土曜ほっとタイム～ぼやき川柳」公開生中継。 会津若松交流事業。 8 月 天皇・皇后両陛下下行幸啓 利尻島訪問。 9 月 利尻町議会議員選挙投票。 10 月 天皇・皇后両陛下下行幸啓に係る献上品お披露目会。 12 月 利礼 3 町台湾観光プロモーション事業。 利尻町未来共創ビジョン 第 6 次利尻町総合計画基本構想策定。
2016	平成 28 年	3 月 一般社団法人旭川地区トラック協会と災害時に関する協定締結。 7 月 北海道電力(株) 沓形発電所 10 号機 (750kWh) 竣工。 9 月 利尻町総合防災訓練。 低気圧被害避難勧告発令。 全国離島振興協議会第 2 回理事会視察。 10 月 利尻町立仙法志中学校閉校記念式典、惜別の会。 利尻町立沓形中学校閉校記念式典、惜別の会。	2019	平成 31 年 令和元年	1 月 株式会社セコマと災害時に関する協定締結。 4 月 町政懇談会。 5 月 天皇即位の日。 利尻町開基 120 周年記念 花いっぱい運動。 利尻町開基 120 周年記念 吹奏楽合同演奏会・歌謡コンサート。 日本ハムファイターズスポーツキャラバン。 6 月 利尻町開基 120 周年記念 健康講演会。 利尻町開基 120 周年記念 桜植樹祭。 FDA チャーター便 歓迎セレモニー。 日本ハムファイターズ応援観戦ツアー。 7 月 ホッカイドウ競馬「利尻町開基 120 周年りしりん特別」出走。 沓形発電所 11 号電設備増設工事に係る開運式。 8 月 利尻町開基 120 周年記念「花火大会」。
2017	平成 29 年	3 月 利尻町立利尻中学校落成式。 4 月 利尻町長選挙保野洋一氏再選 (2 期目) 及び利尻町議会議員補欠選挙投票。 7 月 利尻町内各郵便局と地域における協定に関する調印式。 8 月 稚内海上保安部所属巡視船「りしり」沓形港入港。 9 月 宗谷管内市町村対抗軟式野球大会。 北朝鮮ミサイル発射に伴う Jアラート発報。 台風 18 号 全町避難勧告発令。 利尻町自衛隊協力会設立総会。 10 月 交通事故死ゼロ記録 3,000 日達成。 離島キッチン札幌店オープン。 FM わっかない利尻中継局完成記念事業。			

●西暦	●年号	●事柄	●西暦	●年号	●事柄
2019	令和元年	8月 京都大学交響楽団コンサート。 北海道コンサドーレ札幌 利尻島サッカー教室。 利尻町開基 120 周年記念「劇団四季利尻公演」。 9月 利尻町開基 120 周年記念 NHK「ラジオ深夜便のつどい」公開録音。 北見富士神社 奉祝百二十年記念式典。 利尻町開基 120 周年記念協賛事業 第 56 回宗谷新聞社旗争奪宗谷管内市町村対抗軟式野球大会。 利尻町開基 120 周年記念式典・祝賀会 ハートランドフェリー新造船進水式 利尻町開基 120 周年記念 生涯学習講演会。 北海道警察音楽隊・カラーガード隊演奏会。 10月 利尻町開基 120 周年記念事業「資料からみる利尻の歩み」展。 道北ドクターヘリ就航 10 周年記念行事。 11月 日本ハムファイターズ北海道 179 市町村応援大使トークショー。 株式会社セコマとのまちづくり連携に係る協定式。 行幸啓記念碑除幕式。 12月 利尻町開基 120 周年記念事業「利尻町定住移住セミナー」。 利尻町開基 120 周年記念事業「利尻町ふる里利尻プロモーション」。	2021	令和 3 年	2月 サツドラホールディングス(株)との包括連携協定 調印式。 まち・ひと・しごと創生推進会議開催 まちづくり町民会議 開催。 4月 利尻町長選挙 上遠野浩志氏初当選。 利尻町議会議員再選挙。 5月 新型コロナウイルス感染拡大により北海道全域で緊急事態宣言。 7月 ヤマト運輸(株)とまちづくりに関する協定締結。 8月 新型コロナウイルス感染拡大により北海道全域で緊急事態宣言。 11月 利尻町映画上映会 開催。田島順逸元利尻町長「お別れの会」開催。 12月 北海道電力(株)と災害時に関する協定締結。
2020	令和 2 年	10月 利尻町開基 120 周年記念事業「資料からみる利尻の歩み」展。 道北ドクターヘリ就航 10 周年記念行事。 11月 日本ハムファイターズ北海道 179 市町村応援大使トークショー。 株式会社セコマとのまちづくり連携に係る協定式。 行幸啓記念碑除幕式。 12月 利尻町開基 120 周年記念事業「利尻町定住移住セミナー」。 利尻町開基 120 周年記念事業「利尻町ふる里利尻プロモーション」。	2022	令和 4 年	6月 令和 4 年度「第 1 回利尻町沖洋上風力導入検討協議会」(令和 3 年度事業分「第 1 回利尻町沖洋上風力導入検討協議会」)開催。 7月 野球日本代表監督栗山英樹氏トークショー。 8月 第 50 回記念りしり浮島まつり、花火大会開催。 9月 利尻町議会議員一般選挙。 11月 令和 4 年度「第 2 回利尻町沖洋上風力導入検討協議会」開催。
		2月 アマポーラ宗谷一般公開。 HAC 新機材「ATR42-600 型機」お披露目式。 リシリーボーイズ「利尻にカモン！」PV 発表。 新型コロナウイルス対策本部設置。 4月 利尻町立博物館「北海道遺産展示」。(株)エフエムわっかないと災害時に関する協定締結。 5月 町民へ特別定額給付金を給付。 7月 利尻町定住移住支援センター「ツギノバ」開設。 8月 大雨により災害対策本部設置。 9月 神居海岸パークトイレ竣工。 10月 環境省浮体式洋上風力発電による地域の脱炭素化ビジネス促進事業委託業務(地域調査業務)への申請。 12月 利尻町地域振興商品券 配布。 環境省浮体式洋上風力発電による地域の脱炭素化ビジネス促進事業委託業務(地域調査業務)採択。	2023	令和 5 年	1月 「利尻町成人式」から「利尻町二十歳を祝う会」に名称変更。 2月 浮体式洋上風力発電による地域の脱炭素化ビジネス促進事業令和 4 年度理解醸成事業長崎県五島市視察実施。 3月 利礼 3 町でゼロカーボンシティ共同宣言を表明。 令和 4 年度利尻町沖洋上風力導入検討「内部検討会」開催。 5月 新型コロナウイルス感染症「5 類感染症」へ移行。 6月 令和 5 年度「利尻町沖洋上風力導入検討協議会」開催。
			2024	令和 6 年	1月 吹雪により 6 日間道道全線通行止め。 5月 一般社団法人日本ムービングハウス協会と災害時に関する協定締結。 8月 本郵便株式会社、利尻くつがた郵便局及び、稚内信金と津波時における一時避難施設としての使用に関する協定締結。

2024	令和 6 年	8 月	利尻町立沓形小学校改築工事校舎部分完成に伴い、新校舎供用開始。			
		9 月	アイランドインリシリと津波時における一時避難施設としての使用に関する協定締結。 令和 6 年度「第 1 回利尻町沖洋上風力導入検討協議会」開催。			
		10 月	利尻礼文サロベツ国立公園指定 50 周年記念式典開催。(どんと)			
		11 月	北海道利尻島・台湾屏東県琉球郷友好交流協定調印。			
2025	令和 7 年	12 月	令和 6 年度利尻町沖洋上風力導入検討「内部検討会」開催。			
		3 月	令和 6 年度「第 2 回利尻町沖風力導入検討協議会」開催。 浮体式洋上風力発電による地域の脱炭素化ビジネス促進事業(利尻島沖調査)委託業務成果報告書を環境省へ提出(委託業務終了)。			